

埼玉県学力・学習状況調査 (中学校)

復習シート 第2学年 数学



組		番号		名前		模範解答
---	--	----	--	----	--	-------------

(「資料の活用」を問う問題)

- 1 次の記録は、ある中学校の生徒7人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数
の少ない方から順に並べたものです。

記録

40	46	47	48	53	53	56
----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

反復横とびの記録の範囲を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

レベル8

ア 7 イ 16 ウ 20 エ 48

答え

イ

範囲とは「資料の最大の値から最小の値を引いた値」のこと。

$$56 - 40 = 16$$

- 2 A中学校とB中学校の2年生に対して、通学時間を調査しました。下の度数分布表は、その結果を学校ごとにまとめたものです。

階級(分)	A中学校	B中学校
	度数(人)	度数(人)
以上 未満 0 ~ 10	4	1
10 ~ 20	9	2
20 ~ 30	16	8
30 ~ 40	23	14
40 ~ 50	22	17
50 ~ 60	16	12
60 ~ 70	10	6
合計	100	60

A中学校とB中学校のそれぞれの学校において、全体の人数に対する通学時間が30分未満の人の割合はどちらが大きいかを答えなさい。また、そう考えた理由を『累積相対度数』を用いて説明しなさい。

レベル9

答え

A 中学校

理由 各校の30分未満の階級の累積相対度数を求めると、

A中学校は $(4 + 9 + 16) \div 100 = 0.29$

B中学校は $(1 + 2 + 8) \div 60 = 0.183\dots$

となり、A中学校の方が割合は大きいことが分かる。